

事務事業 No./名 称	☐ サービス部門 総務-02 ☒ 支 援 部 門 公平委員会事務						
主管課	総務課	関連課					
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	公平委員会の適正運営を図る。						
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考		
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
	事業の対象者数						
運営資源 状 況	決算値(千円)	357	309	418			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	357	309	418			
	人員配置数	0.3	0.3	0.3			
	人件費(千円)	2,712	2,750	2,714			
	協 働 の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	3,069	3,059	3,132			
	市民1人当 りの経費(円)	17	17	18			
	対象者1人 当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。		②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。	
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。		④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。	
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)		⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
公平委員会事務	357千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	公平委員会委員報酬、全国公平委員会連合会負担金など				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)					
H22年度の課題	不服申立てから審査・決定までの手続における各段階での対処すべき事項を、わかりやすい形でマニュアル化する。				
課題解決のための取組	マニュアル作成作業に着手した。				
未解決の課題	公平委員会制度について、広く職員に周知を図る。				
今後の方針	公平委員会制度を利用しやすくするため、手続きのマニュアルや他市の審理事例などを紹介することにより、職員への周知を図る。				
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了	課長名 総務課長 内藤 昭二